

「神経変性疾患における網羅定量プロテオミクス解析」 に関する情報公開

東京都健康長寿医療センターでは、当センター高齢者ブレインバンクに登録された方を対象に下記の共同研究を実施します。病理解剖の際に医科学研究への協力にご承諾をいただいておりますが、改めて本研究へのご協力を承りますようお願いいたします。

なお、本研究への協力を望まれない場合、あるいは研究の詳細についてお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ担当者までご連絡ください。

●研究の名称

神経変性疾患における網羅定量プロテオミクス解析

●研究責任者

東京都健康長寿医療センター 神経病理／高齢者ブレインバンク 齊藤祐子

●研究の対象

2001年7月以降に病理解剖され東京都健康長寿医療センター高齢者ブレインバンクに登録された方の内、病理診断によりアルツハイマー病、レビー小体病、パーキンソン病、筋萎縮性側索硬化症と診断された方および顕著な脳変性疾患なしと診断された方。

●研究の期間

倫理委員会承認後から2025年8月まで

●研究の目的

神経変性疾患が発症に至る分子メカニズムには、まだ不明の点が多くあります。本研究では、神経変性疾患の患者様の脳検体を用いて網羅的にプロテオミクス解析を行うことにより、疾患発症に至る分子メカニズムを明らかにいたします。

●研究の方法

試料は匿名化されて、共同研究先である獨協医科大学先端医科学研究センターに宅急便で送られます。先端医科学研究センターでは、生化学的手法を用いて脳をいろいろな画分に分け、それぞれの画分について、質量分析システムを用いてタンパク質組成および元素組成を分析します。異なる疾患群同士、あるいは疾患のない対照群との間で脳組織の構成分子群を比較検討することにより、疾患の原因となる分子構成の変化を見つけて、疾患特異的分子機構および共通の分子機構を明らかにいたします。得られた研究成果は、個人が特定できないようにした上で、国内外の学会や学術雑誌、データベース等で公表されます。

●研究に使用する試料・情報

アルツハイマー病患者と顕著な脳変性疾患のない高齢者各 5 例の凍結脳および脳パラフィン切片およびそれに付随する情報（診断名、年齢、性別、身体所見（認知機能検査結果）、病理学的解析結果、死後時間など）

●研究組織

東京都健康長寿医療センター 神経病理／高齢者ブレインバンク

齊藤祐子

村山繁雄

獨協医科大学先端医科学研究センター

小川覚之（研究代表者）

東京薬科大学

梅村知也

●お問い合わせへの対応

本研究に関するご質問や資料閲覧のご希望は、下記の問い合わせ先にご連絡下さい。

研究計画書や研究方法に関する資料については、ご遺族の希望に応じて、他の研究対象者や研究者に不利益が及ばない範囲内で、ご覧になることができます。また、研究への協力撤回を表明された場合は、速やかに研究での利用を停止いたします。研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることはございません。しかしながら、すでに研究に使用されていた場合には、結果の削除など十分なご対応ができない場合がありますことをご了承ください。

【問い合わせ先】

〒173-0015 東京都板橋区栄町 35 番 2 号

東京都健康長寿医療センター

高齢者ブレインバンク/神経病理 齊藤祐子

電話 03-3964-3241 内線 4419（平日 9:00~17:00）